

ビルバオ交響楽団と共演

莊村 清志（岐阜市出身）

私は岐阜で生まれ、小学校を卒業するまで、本荘という当時は田圃、畑に囲まれたのどかな所で育ったので、正に岐阜は私にとって故郷です。その岐阜にサラマンカホールという素晴らしい演奏会場があり、今年の七月十一日にスペインのビルバオ交響楽団と演奏させていただきます。ギターとオーケストラの為に書かれたアランフエス協奏曲という名曲があります。今まで一度も録音した事が無く、私の親しい友人達が莊村に是非録音させてあげたいという願いで、昨年秋スペインのビルバオ市まで行って、現地録音して来ました。ビルバオ市の人口は三十万人ですが、岐阜と似た様なものだと思いますが、とても落ち着いた良い町で、人に対する対応もあたたかく親切でした。やはり大都会でなく、この位の規模だと余裕があるのでしょね。録音は、朝の十時から一時まで有り、その後町が小さいので、みんな

家に帰り食事をしながらワインを飲んで生活を楽しむ訳ですね。そして昼寝をしてアルコールを抜いて、又夜の七時から十時まで録音をします。東京の様な大きな都市では無理な事です。

又、定期演奏会にも出演させていただきました。次の日公園を散歩していたら、年配のご夫婦が、「昨日の演奏とても良かったよ」と声をかけられ、その後コーヒーを飲みながら、その後コーヒーを飲みながらカフエテリアに入ったら、三人連れのご婦人に、「昨日聴いたわよ」と声をかけられ、やはり小さい町は良



いなと思えました。オーケストラの団員も、みんな一緒に演奏していてもニコニコと笑いかけてくれて、本当に演奏を楽しんでいる雰囲気。満ちあふれ、リラックスして良い演奏が出来ました。

このCDは今年五月にEMIミュージック・ジャパンより出ますが、それを記念して七月にこのオーケストラを日本に招いて、全国七カ所で行ないます。ちなみに、東京は七月九日、初台のオペラシティです。是非聴いていただきたいと思えます。

